

25 8 1

平成25(2013)年8月1日発行
広報あつぎ 第1164号


ネットは 厚木市 検索
www.city.atsugi.kanagawa.jp

広報あつぎ

第18回 全国朝市サミット
inあつぎ

全国15の朝市と県内朝市が厚木に集結します。

日程 10月26・27日
会場 厚木中央公園



編集・発行 / 厚木市政策部広報課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951



あつぎ 元気Wave
CATV 8/16~放送
関連番組をケーブルテレビで放送。時間は6面。



新鮮な野菜はみずみずしく栄養満点

厚木市民朝市

時間 毎週日曜 5時30分~7時
(10月~3月は6時~7時)

場所 文化会館
8月25日は「味覚フェア」。買い物をした方に厚木産のナシまたはリンゴをプレゼント(数量限定)。

夕焼け市 (4月中旬~10月)

時間 毎週水曜 17時~
(9月~10月は16時~)

場所 荻野運動公園
8月28日は「納涼フェア」。買い物をした方に夕焼け市の買物券と調味料をプレゼント(数量限定)。

笑顔の源は 厚木の夏野菜

夏のまぶしい日差しの中、外で元気よく遊んでいる子どもたち。冷水で冷やした野菜を手に、満面の笑みを浮かべています。暑い夏を健康に過ごすには、十分な栄養と水分が必要です。夏野菜は水分やカリウムが豊富で、熱中症予防に効果的。生で食べられる野菜も多く、効率良く栄養を補給できます。

市では新鮮な農作物を市民の皆さんに安く提供できるよう、市民朝市や夕焼け市を開催。市内の農家が直売し、毎週多くの人でにぎわっています。

「露地野菜は旬が一番。自分たちが食べるものを出しているから、間違いなくおいしいし安全だよ」。そう話すのは、市民朝市出店者組合の相原正夫さん(60)。農薬の使用をできる限り控え、手間を惜しまず野菜作りに励んでいます。

大きなトマトや曲がったキュウリなども、地場産ならではの採れたての厚木産の野菜で、夏を元気に過ごしましょう。

問農業振興課 ☎225局28001

目次	2面	メガソーラー発電所が完成	3面	市の食物アレルギー対策は	4・5面	平和を継ぐ	6・7面	タウンガイド
	こちらから	上古沢にクリーンエネルギーを生み出す大規模太陽光(メガソーラー)発電所が完成しました。	子どもたちが安心しておいしい給食を食べられるよう、市では食物アレルギー対策を進めています。	市の平和都市宣言から20周年。戦時中の厚木を振り返るとともに、体験談などから平和の尊さを考えます。	催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。			

トピック 温暖化防止

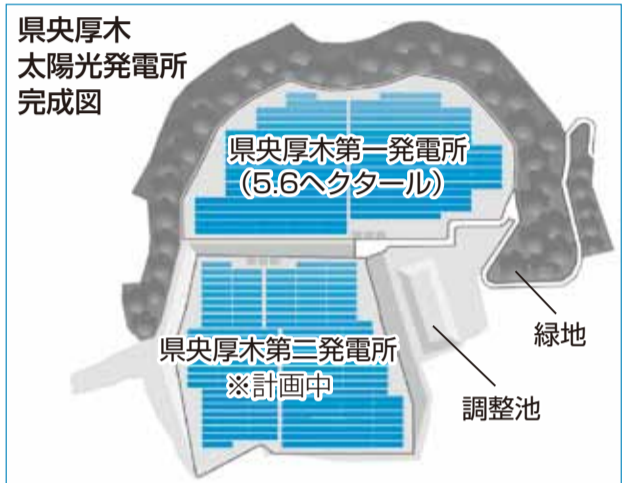
環境に優しいクリーンエネルギー

メガソーラー発電所が完成

上古沢に建設が進められてきた大規模太陽光（メガソーラー）発電所が完成しました。県と市が連携して民間の発電事業者を誘致した県内第1号の施設です。市では環境に優しいまちを目指し、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入を促進しています。



緑あふれる上古沢地区に完成したメガソーラー発電所



地域でつくるエネルギー

メガソーラー発電所は、出力が1メガワット（千キロワット）以上の大規模な太陽光発電施設です。市では、土地所有者との交渉や発電所の設置に対する補助制度の整備など、市内への積極的な誘致活動を展開してきました。その結果、神奈川電力（市内の企業・オーイズミが100%出資する子会社）が発電事業者に決定。上古沢の岩石採取事業跡地に「県央厚木第一発電所」を建設し、7月から稼働しています。

5・6畝に及ぶ発電所の敷地には、8千枚を超える太陽光パネルが敷き詰められています。

められています。最大出力は約1.9メガワット、年間発電量は約190万キロワット時で、約530世帯の1年間の使用電力に相当します。発電した電力は、東京電力を通じて各家庭に供給されます。発電所の南側の隣接地には、第2期のメガソーラー発電所の建設が計画されています。来春の完成を目指し、現在整備が進行中。今回の第1期分と合わせると最大出力は約4メガワットに達し、県央で最大級のメガソーラー発電所になります。

神奈川電力の加藤修さん（68）は「発電所の周りの緑地には、サクラの木を千本植える予定。市民の皆さんに喜んでもらえれば」と話します。「クリーンエネルギーをつくり出す施設として、環境や電気の仕組みなど子どもたちの学習にも役立ててほしい」と地域貢献にも意欲的です。

太陽光発電の導入を促進

ことし4月、地域のエネルギー政策を検討してきた再生可能エネルギー検討委員会から、市に「あつぎ元気地域エネルギー構想」の報告がありました。構想では、市の環境に適した再生可能エネルギーとして、太陽光発電に着目。エネルギーを生み出す「創エネ」の柱の一つには、メガソーラー発電所

ひとまち元気



両校の選手、関係者の皆さんと

厚木市長
小林孝良

「交通安全」も自転車神奈川県大会で、清水小学校が優勝、緑ヶ丘小学校が準優勝に輝きました（8面に関連記事あり）。特に、これまで2年続けて

2位だった清水小は、3月から延べ600人もの地域の方々が指導に協力してくださったそうです。「3度目の正直」での栄冠には、私も大いに感銘を受けました。

本番前、両校の合同練習に伺いました。会場には地域の交通安全指導員や保護者、先生、警察官の方々などの温かいまなざしがあふれていました。今回の快挙は、選手の頑張りはもちろん、地域が一体となって子どもたちを支えてきたたまものだと思います。

清水小は、安全な学校づくりの世界基準・インターナショナルセーフスクール（ISS）の認証校です。ことしは再認証審査の年で、あらためて児童、学校、地域の取り組みの成果が目まはります。8月7日の全国大会ではISS認証校の底力を示し、再認証への弾みとなる活躍を期待しています。

地球環境に優しいまちに

東日本大震災による原発事故以降、火力などによる発電が増加し、温室効果ガスの排出が増えています。市では、再生可能エネルギーの導入を促進。地球温暖化防止とエネルギーの地産地消に向けた取り組みを進めています。

環境総務課 ☎225局2746

太陽光発電事業用地を募集

発電事業者を紹介する、太陽光発電に適した土地を募集しています。

- ①応募者が土地所有者
- ②南方向に障害物などがなく日当たりが良い
- ③面積が概ね1,000㎡以上
- ④農地の場合は、農地転用許可が必要

環境総務課にある応募用紙（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、直接または郵送、Eメールで ☎243-8511環境総務課 ☎225局2746・e-mail=3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。





①おいしそうに給食をほお張る児童たち(戸田小)②エピペンの使い方を指導する伊東医師③熱心に研修を受ける教職員と保護者

トピック 食育

健やかな成長を支える学校給食 市の食物アレルギー対策は

学校で毎日提供される給食は、子どもたちの心身を育てています。市では子どもたちが安心しておいしい給食を食べられるように、学校や病院、保護者と連携し、食物アレルギーへの対策を進めています。みんなでアレルギーへの理解を深め、協力して取り組むことが大切です。

食物アレルギーは、原因となる食物を食べると発生する、じんましんなどの体に悪影響を及ぼす免疫反応です。重度のアレルギー反応は呼吸困難などを引き起こし、命に関わる危険性があります。昨年12月、東京都の小学校では、給食を食べた児童が食物アレルギーの発作で亡くなるという痛ましい事故が起きました。

アレルギーは身近な問題

市内の小中学校では、保護者に調査票を配り、子どもたちの食物アレルギーの有無を把握しています。調査の結果「アレルギー有り」と回答があった子どもは約千人に上っています(下表参照)。その内13人の児童・生徒は、アナフィラキシーショック(※)が起きる恐れがあるため、医師から症状緩和注射(エピペン)の携帯を指示されています。



市立小中学校 食物アレルギー 調査結果

【平成25年4月現在】

	児童・生徒数	アレルギーがある人数	詳細な献立表配布数※
小学校	12,288人	653人	90人
中学校	6,181人	354人	30人

※給食の食材が詳細に書かれた献立表を配布している人数。

正しい情報の共有が大切

子どもたちが、自分だけでアレルギーの原因となる食物を取らないよう気を付けるのは、とても難しいことです。周りの大人が正しい知識を持ってサポートすることが重要です。

学校では、食物アレルギーのある児童・生徒がいた場合、保護者と話し合い適切な対応を決めています。給食に使われている食材が詳しく書かれた献立表を配布し、食べられないメニューが多い日は家庭で弁当を用意してもらうなど、保護者と学校が協力して取り組んでいます。アレルギーの原因となる食物を除いた除去食の提供も、可能な範囲で実施しています。

6月には小中学校の教職員や保護者を対象に、食物アレルギーについて考える研修会を開催。参加者は、緊急時の対処方法や学校と保護者のコミュニケーションの重要性などを学びました。エピペンの使い方を指導した市立病院小児科上席医師の伊東建医師(45)は「食物アレルギーは、急に発症することもあるし、成長に伴い原因や症状

食育推進料理教室

～薬膳料理で夏バテ知らず～



相川公民館で実施した料理教室の様子

おいしい食事をしっかり取ることは、健康を保つ秘訣です。暑い夏を乗り切るために、薬膳料理を学んで家庭の献立に取り入れてみませんか。

《内容》食生活改善推進団体「厚味会」による調理実習と試食
栄養士による講義(食事バランス、食中毒予防など)

☆献立

- ◆主食……… 緑豆ごはん
- ◆主菜……… ニガウリの肉詰め菊花あんかけ
- ◆副菜……… ナスの利休煮
- ◆汁物……… トウガンとモロヘイヤの吸い物
- ◆デザート… 白きくらげシロップ煮とフルーツ添え



《日程・会場》

8月19日＝睦合北公民館 8月22日＝睦合西公民館、玉川公民館
《申し込み》実施日の3日前までに厚味会・吉崎☎228局1212へ。
《参加費》200円

※健康増進に向けた料理教室を随時開催しています。日程や申し込み方法などは、市ホームページで確認してください。

☎健康づくり課☎225局2201

更なる安心のために

市では、より安心な学校給食のために食物アレルギー対応メニューの充実に向けて取り組んでいます。7月には、養護教諭や栄養教諭による改訂作業がスタートしました。

楽しく給食を食べられることは、子どもたちの健やかな成長につながります。みんなで食物アレルギーを理解し、協力して取り組みましょう。

☎保健給食課☎225局2668

(※) 重度なアレルギー反応の一つで、過剰な免疫応答によって起きる。呼吸困難、嘔吐、意識障害などの症状が現れ、生死に関わる危険性がある。

海外向け見本市や販路拡大に!

ビジネス英語力向上プログラム

《対象》市内の中小企業に勤務(個人事業主含む)または市内で1年以上に起業見込みの方80人。

ビジネス英会話 週1回、全24回
ビジネス英文書 週1回、全24回
グローバルマインド講座 月1回、全3回
1カ月5,250円。詳細は、市ホームページまたは産業振興課にあるパンフレットをご覧ください。

☎産業振興課☎225局2585

☎電話または産業振興課にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、郵送またはファクス、Eメールで8月23日(必着)までに〒243-8511 産業振興課☎225局2585・☎223局7875・e-mail=2900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。





縁側で談笑する中丸勇さん(左)と弟の武夫さん(右)



戦没者の村葬に列を成す村民たち(昭和19年・南毛利村)

シベリア抑留を聞く

昭和19年、20歳で出征しました。ソ連領の目の前に配備する第一国境守備隊に配属されました。終戦により帰れると思っていたら武装解除させられ、そこから抑留生活が始まりました。

拘束中は寒さや飢え、過酷な強制労働などでたくさんの仲間が死にました。数時間前まで共に生きていた仲間が死んでいくのがとてもつらかった。供えた心ばかりの枕団子さえ、知らぬ間に誰かが食べてしまうような状況でした。

ある日、極限生活に耐え切れなくなった2人の日本兵が脱走を試み捕まりました。2人は、自分たちが入る墓穴を掘られた後、皆の前で銃殺されました。私たちが後始末をさせられましたが、遺髪さえ取らせてもらえませんでした。

中丸 勇さん(89・関口)

いつどうなってもおかしくない環境でしたが、故郷を思い「必ず生きて帰る」と信念を持っていました。帰国するための引き揚げ船「英彦丸」が入港したときはみんなじっとしてられず、うれしさのあまり足踏みしたことを覚えています。



満州の中丸勇さん

戦争に関心がない人もいますが、過去をよく知らないまま将来を決めるのはとても怖いことです。よく学んで、絶対に戦争はしないでほしいと思います。

戦争は次第に激しさを増し、厚木の若者たちも次々と戦地へ送られた。昭和19年10月、当時20歳だった兄の勇さんは、満州に出征した。

昭和20年2月16日、厚木の上空に現れた米軍機が、中津飛行場や軍需工場を大量に爆撃した。この頃から毎日のように、空襲を知らせるサイレンや半鐘の音が鳴り響くようになった。

3月10日、東京大空襲。その様子を目にした武夫さんは「東の空が夕焼けのように真っ赤に染まった」と強く記憶している。

戦況の悪化に伴い、誰もが厳しい生活を強いられるようになった。敵国に気付かれないようマッチの火さえ付けに手探りで夕食を取った。夜はすぐに逃げ出せるよう作業着のまま床に就いた。農作業に出る時はクワの木などに身を隠し、街に行くにも防空頭

巾を持ち歩いた。空襲警報が鳴ると慌てて防空壕に逃げ込み、震えながら時間が過ぎるのを待った。

終戦、家族の再会

昭和20年8月15日、多くの犠牲と爪痕を残して、戦争は終わった。厚木市での戦死者は約1500人上った。

「終戦の日とはとても暑く暑い日だったのを覚えている」。武夫さんは、家で両親と玉音放送を聞いた。空襲におびえる日々は終わったが、兄の勇さんだけがいつまでも戻ってこなかった。武夫さんは毎日のように夕方のラジオで復員の知らせを聞き、母親は勇さんの食事も毎朝用意し帰りを待ち続けた。

勇さんは、第一国境守備隊として満州に赴いていた。終戦とともにソ連軍に拘束され、シベリアで厳しい抑留生活を送っていた。勇さんが無事家族の元に帰還したのは昭和23年12月。やっと復員の知らせを受けた家族は、小田原駅まで勇さんを迎えに行った。4年ぶりの再会に、武夫さんと勇さんは、涙を流しながら抱き合った。

昭和16年12月8日、太平洋戦争が始まった。日中戦争から続く戦時生活は長期にわたり、国民は慢性的な食糧難に苦しんでいた。農村地帯だった厚木には、都会から食料を買求める人が訪れた。その上、厳しい食糧生産が課せられていたため、皆自分の取り分を削りながら一生懸命増産に励んでいた。

戦争と人々の暮らし

「軍服を作るためにクワの木の皮をむいたり、草取りや麦刈りをしたりと、子どもたちも勤勞奉仕していたよ。その当時を振り返るのは、農家の四男として生まれた中丸武夫さん。長男、次男は早々に出征し、三男の勇さんは中津飛行場(現・内陸工業団地)で整備員をしていた。

開戦時、10歳と幼かった武夫さんも、年離れた両親や出征中の兄たちに代わり、進んで勤勞奉仕に取り組んだ。「幼かった自分には重労働だったけど、性別や年齢の区別はなかった。言われたことは何でもやろうと思っていた」と武夫さんは話す。日本軍の勝利を祝う旗行列や、戦死者を弔う村を挙げての葬儀にも参加していたという。

津飛行場(現・内陸工業団地)で整備員をしていた。

開戦時、10歳と幼かった武夫さんも、年離れた両親や出征中の兄たちに代わり、進んで勤勞奉仕に取り組んだ。「幼かった自分には重労働だったけど、性別や年齢の区別はなかった。言われたことは何でもやろうと思っていた」と武夫さんは話す。日本軍の勝利を祝う旗行列や、戦死者を弔う村を挙げての葬儀にも参加していたという。

戦時下の厚木

戦争経験者の中丸武夫さん(82・水引)は開戦時、愛甲郡依知村(現在の依知地区)に住んでいた。戦争で兄・勇さん(89・関口)は出征し、家族は離れ離れに。兄弟の話から、当時の厚木の暮らしを振り返る。



中学生以上を対象に軍事訓練を実施した(昭和10年代・旧制厚木中学校)

「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言あつぎ」20周年

平和をつなぐ

太平洋戦争が終戦し68年。市が平和都市宣言をしてから20周年を迎えた。当時の人々はどうの様に戦争に直面したのか。戦争を知る人、戦争で大切な人を失った人の話から過去と向き合い、平和の尊さについて考える。

あつぎ 元気Wave
CATV 8/1~放送

「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言あつぎ」20周年

平和パネル展

戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に語り継ぐため、パネル展とビデオ放映を実施します。

《日時》8月8日~15日 9時~22時
《会場》ヤングコミュニティセンター
《内容》「戦争と子ども」をテーマに、戦争孤児に関連する写真展示とインタビュービデオ放映(13日~15日、9時~17時)。
固福祉総務課 ☎225局2200



忠魂碑を定期的に清掃し、追悼する遺族会の皆さん

厚木市戦没者追悼式

先の大戦で尊い命をささげられた英霊を追悼します。戦争の悲惨さを語り継いで平和への決意を新たにしましょう。

《日時》8月22日 10時30分~11時40分
《会場》文化会館
固福祉総務課 ☎225局2200

《出展・参考資料》
『写真集 厚木市の昭和史』
『厚木近代史話 厚木市史編纂委員会 編』

記憶を風化させない

時がたつにつれ、当時を知る人の数は少なくなっている。悲劇を繰り返さないためには、戦争を知り伝えていく必要がある。ことしは、市の平和都市宣言から20周年。平和への思いを受け継いでいくために、尊い犠牲と戦禍の記憶を風化させたい。

語り継ぐ決意

「勝ち負けに関わらず、戦争は不幸になる人を増やすもの」と話すのは、セブ島で父親を失った三橋功さん(74・恩名)。出征を見送る別際に顔を拭いてくれた、優しい父親の面影を忘れることはない。

三橋さんは、戦争の体験談を語る「語り部」になった。依頼があれば小中学校などに赴き、子どもたちに自分の経験を伝えていく。「戦争体験者も高齢化している。私たちができる限り伝えなければ」。そう話した三橋さんの厳しい表情からは、決意がにじむ。

市内には、12カ所に忠魂碑、慰霊塔などが点在し、市の遺族会が定期的に清掃している。その他、各地での追悼式の開催や、パネル展、講演会の実施などを通して、戦没者をしのび、後世に戦争を伝えていく。

明日に伝える

戦争経験者は、年月とともに高齢化している。長い間つらい記憶に苦しみながらも平和の尊さを訴えようと活動する人がいる。現代に生きる私たちは少しでも事実を知り、思いを受け継がなくてはならない。

次世代に語り継いでいくことが必要

厚木市遺族会 山本 好敬 会長(78・長谷)

昭和16年に、父が出征しました。フィリピンのルソン島で戦死したのが昭和17年4月で、私は当時8歳。妹はまだ2歳でした。父の戦死の知らせを受けた時は、押し入れの布団に顔を突っ込んで泣きました。

当時は福岡県に住んでいましたが、戦況が悪化したため疎開することになりました。疎開先ではよそ者扱いされ、よくけんかをしました。妹がいじめられては困るのと思い、気が張っていたのだと思います。その後高校の教師になりましたが、疎開の経験から「生徒を絶対に差別しない」と誓って仕事をしていました。

平成18年、遺児を対象にした国の事業の一環でルソン島を訪れた時は「親父はこんなところで死んだのか」と感極まり、涙が止まりませんでした。若い人たちにはあんな思いをさせたくありません。遺族会は各地での追悼式や地区の忠魂碑の清掃など、皆高齢化しながらも一生懸命活動しています。次世代にどのように平和の尊さを語り継いでいくかが今後の課題です。

国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言「あつぎ」

世界の恒久平和は、私たちの共通の願いです。私たちは、この地球を平和で美しいものとして、未来に引き継いでいかなければなりません。しかし、国際平和の実現には、人々の理解と協調が必要であり、今、私たちには世界的視野で考え、行動することが求められています。そのため、世界に開かれた「国際都市あつぎ」をめざす私たち厚木市民は、平和で安全な国際社会の実現に向けて、核兵器の廃絶と非核三原則の堅持を強く求め、ここに「国際平和と核兵器廃絶を求める都市」を宣言します。

平成5年4月 厚木市

夏休みマンガ教室参加者募集

8月29日、9時30分～12時。ヤングコミュニティセンター。東京工芸大学マンガ学科によるマンガ教室。小学4年～中学3年生40人。100円。☎8月1日～16日に電話で商業にぎわい課☎225局2840へ。申し込み順。

私たちの「相模川」絵手紙コンクール作品募集

相模川や湖、森林での思い出などを表現した絵手紙を募集します。☎ハガキに絵手紙を書き、8月31日までに直接または郵送で〒252-5277相模原市役所水みどり環境課へ。ハガキの差し出人欄に住所、氏名、年齢または学年、電話番号を記入してください。詳細は市ホームページをご覧ください。☎河川ふれあい課☎225局2381。

市立病院看護師・助産師募集

《試験日》8月25日《対象》①助産師または看護師免許を有する②免許を取得する見込み一のいずれかに該当する方50人。定年60歳。☎市立病院、市役所、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書（市立病院ホームページからダウンロード可）を8月16日（消印有効）までに直接または郵送で〒243-8588水引1-16-36経営管理課☎221局1570へ。

北部学校給食センター給食調理補助員を募集

《勤務場所》北部学校給食センター（三田172）《期間》9月上旬～12月下旬（月～金曜、更新有り）《時間》8時30分～15時15分《募集人員》若干名《給与》時給980円。☎市販の履歴書に写真を貼り、直接または郵送で8月7日（必着）までに〒243-0211三田172北部学校給食センター☎225局2653へ。8月12日に面接を実施。

市民ふれあいマーケット出店者募集

《日時》9月8日（雨天の場合は9月15日）、10時～14時《会場》厚木中央公園《内容》家庭で不用に

なった物の販売《対象》市内在住（高校生以下は不可）の方130店舗。500円。☎往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、自動車使用の有無（使用する場合は車種とナンバー）、返信先を書き、8月16日（消印有効）までに〒243-8511環境総務課☎225局2780へ。抽選。記入漏れ、複数応募は無効。☎120091

アンチエイジングで大事なカラダを守る講座

9月10日、14時～15時30分。パートナーセンター。抗加齢医学の視点からの生活習慣病予防について医師が講演。市内在住の方80人。無料。☎9月2日までに健康づくり課☎225局2201へ。抽選（落選者のみ9月3日以降に電話連絡）。ウェブ申☎130220

納税コールセンターを開設

市県民税や固定資産税、軽自動車税が未納の方に、電話で納付を呼び掛けます。センターでは現金自動預払機（ATM）の操作や指定口座への振り込み指示、自宅への訪問はしませんので、ご注意ください。☎収納課☎225局2021。

第2回初級・中級テニス教室

9月4・6・11・13・18・20日（全6回）、19時～20時45分。南毛利スポーツセンター（温水1-27-1）。初歩的基礎技術の講習。市内在住在勤在学で高校生以上の方50人。2,500円。☎ハガキまたはファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、8月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1体育協会☎247局7212・☎248局7151へ。抽選。ウェブ申☎130180

カラーレッスン

9月21日、14時～16時。勤労福祉センター。カラーコーディネートを学ぶ。市内在住在勤の成人女性15人。1,900円。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、8月20日までに勤労福祉サービスセンター☎225局2547・☎227局5405へ。抽選。ウェブ申☎130221

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ

あゆチャンネル(11ch)

放送時間(15分)

8月の広報番組ガイド

8月1日～15日

◆平和を継ぐ

戦争体験者に話を聞き、平和の尊さについて考えます

①12時～②19時30分～③22時45分～

※内容は変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信

あつぎ元気Wave

検索

CATV放送開始後に配信

ハートピアテニス教室

9月5・12・19・26日（全4回）、19時～21時。南毛利スポーツセンター。テニスの基本を学ぶ。市内在住在勤在学の中学生以上の方5人。500円。☎電話またはファクスに教室名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、8月11日までに勤労福祉サービスセンター☎225局2547・☎227局5405へ。抽選。ウェブ申☎130223

第19回相模川灯籠流しの夕べ

8月17日、19時～20時（受け付けは18時30分～19時30分）。三川合流点。灯籠に絵や文字を描いて流す。中学生以上1,000円、小学生以下300円（灯籠、飲み物代）。入場無料。☎明るい社会づくり運動厚木市協議会・渡邊☎247局1660。

『福祉の広場』2013ふれあいサマーコンサート

8月9日、13時20分～15時20分（受け付けは12時30分～）。文化会館。チアダンスとプラスバンドの音楽を楽しむ。無料。☎「福祉の広場」実行委員会☎223局1441。

本厚木駅連絡所臨時休業

8月20日は駅ビルの電気点検のため、証明発行などの連絡所業務と観光案内所業務を休業します。☎市民課☎225局2110。

児童扶養手当現況届などの提出

手当を受給している方は必ず届け出をしてください。

◆児童扶養手当

《対象》父または母と生計を別にする児童を養育している方《提出期間》8月1日～30日。

◆特別児童扶養手当

《対象》精神や身体に障がいのある児童を養育している方《提出期間》8月9日～9月10日。

いずれも手当証書と印鑑を持ち、こども家庭課☎225局2241へ。対象者には事前に通知します。

「市史たより第9号」を発行

《内容》「登山一号墳出土の埴輪群をめぐって」《配布場所》公民館、中央図書館、郷土資料館、文化財保護課。☎文化財保護課☎225局2060。

障害者雇用奨励交付金の申請

障がい者を雇用する事業主に奨励金を交付します。

《対象》常用労働者数が300人以下で①8月1日現在市内で1年以上継続して事業を営む②市内の事業所に1年以上継続して障がい者を常用雇用③障害者雇用率を達成④市税を完納一の全てを満たす事業主《金額》市内在住の障がい者1人につき6万円（市外は5万円）《期間》雇用日から1年を経過した最初の8月1日から10年。☎市ホームページからダウンロードした申請書に必要事項を書き、8月31日（必着）までに直接または郵送で〒243-8511産業振興課☎225局2585へ。

みんなの声で 作るまち

《意見交換会》

◆自転車の放置防止に関する条例改正について

8月21日、19時～20時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎くらし交通安全課☎225局2760。

あつぎ健康相談ダイヤル24

さわやか1番 よいこころ

☎0120-31-4156

子育てアドバイザー講習会

《日時》9月18・25日（全2回）9時15分～17時（25日は13時30分～）《会場》総合福祉センター《対象》市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり（1歳以上10人。9月2日までに要予約。申し込み順）。別途、保育所実習（半日）が必要。修了者には認定証を交付。☎9月2日までに子育て支援センター☎225局2922へ。抽選。ウェブ申☎130179

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや、保育施設への送迎などができる方。☎入会申込書に証明写真2枚を添えて9月2日までに直接ファミリー・サポート・センター（総合福祉センター5階☎225局2933）へ。9月18・25日、9時15分～17時（25日は13時30分～）に総合福祉センターで講習会を実施。託児あり（1歳以上10人。9月2日までに要予約。申し込み順）。公募☎330011

☎こども育成課☎225局2922

第51回市民文化祭出展者募集

市民文化祭「文化作品展」への出展者を募集します。

催し物	会場・展示期間	代表者	問い合わせ先
華道展	文化会館展示室 (10月26・27日)	揚石	☎224局8726
山野草展		佐藤	☎228局1048
盆栽展		後藤	☎247局0667
フラワーデザイン展		長澤	☎222局7280
川柳展 (1人3句)	文化会館集会室 (10月26日～ 11月2日)	瀬戸	☎0463・ 94局6609
短歌展(1人1首)		櫻田	☎223局4844
俳句展(自筆1句)		阿部	☎241局8144
美術展(陶芸を含む) (絵画は50号以下、1人1点)	文化会館展示室 (10月30日～ 11月3日)	榎原	☎242局4226
書道展		紙崎	☎242局8765
写真展(1人1点)		加藤	☎228局0787
菊花展	厚木中央公園 (11月2日～7日)	伊藤	☎247局0269



☎8月23日までに各代表者へ。※各催し物ごとに出展条件などがありますので事前にご確認ください。

☎文化生涯学習課☎225局2510

タウンガイド

8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「ウェブ申」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。

www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

を歩く。弁当、飲み物、タオル、トレッキングシューズなどをお持ちください。定員20人。1,000円(入浴料含む)。☎8月13日までに東丹沢七沢観光案内所 ☎248局1102へ。申し込み順。

(ふりがな)、電話番号を書き、8月22日までに産業振興課 ☎225局2585・☎223局7875へ。申し込み順。
ウェブ申 ☎130178

第2回親子ふれあい自然体験教室

9月7日、9時～14時。七沢自然ふれあいセンター(七沢2440)。竹で流しそうめんを楽しむ。市内在住の親子40人。500円(保険料含む)。☎直接、電話またはファクスに教室名、〒住所、氏名、大人、子どもの人数、電話番号を書き、8月16日(必着)までに七沢自然ふれあいセンター ☎248局3500・☎248局4708へ。抽選。ウェブ申 ☎130238

応急手当普通救命講習会

8月24日、9時～12時。睦合分署(三田1475-1)。心肺蘇生法、大出血時の止血法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学で中学生以上の方30人。無料。☎8月8日までに救急救命課 ☎223局9365へ。抽選。ウェブ申 ☎120897

バスで行くナシ、ブドウもぎ取り体験

8月29日、①10時～②13時30分～(雨天中止)。市内果樹園。市内在住在勤在学の方各回20人。もぎ取り代金は実費。☎往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、希望時間、人数を書き、8月15日(必着)までに〒243-0004水引2-10-38JAあつぎ ☎221局2273へ。抽選。☎190219

市民協働提案事業「健康ウォーキング教室」

9月8・22・29日、10月27日(全4回)。9時30分～12時。緑ヶ丘公民館(緑ヶ丘2-2-1)。歩き方の基本と健康づくりのこつを学ぶ。市内在住の自力で歩ける方40人。250円(資料・保険代)。☎ハガキに〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を書き、8月31日(必着)までに〒243-0803山際647-2厚木歩け歩け協会・三浦 ☎245局3923へ。抽選。

合同就職面接会

8月28日、12時30分～16時30分。厚木商工会議所。市内および近隣企業の就職面接会。市内および周辺地域在住の求職中の方(学生は対象外)。面接希望企業数分の履歴書をお持ちください。参加企業は、8月8日から市ホームページ、産業振興課で公開。☎当日直接会場へ。☎産業振興課 ☎225局2585。

応募書類・面接徹底攻略セミナー

8月23日、9時30分～16時30分。勤労福祉センター。履歴書などの作成方法や面接について学ぶ。8月28日の合同就職面接会に参加予定の方30人。無料。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名

厚木児童思春期精神保健講座第19回本講座

8月10日、14時30分～16時30分。厚木商工会議所。「地域療育センターから見た最近の子ども達」がテーマの講演。50人。無料。☎8月8日までに青少年教育相談センター ☎225局2520へ。抽選。ウェブ申 ☎130219

天文講演会

8月11日、14時～15時30分。子ども科学館。小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトメンバーの話聞く。小学生以上の方90人。無料。☎8月3日(市外の方は翌日)から電話で子ども科学館 ☎221局4152へ。申し込み順。☎230006

市民ギャラリー利用者募集

個人または3人以下のグループを募集します。
《展示期間》平成26年2月4日～10日。☎市民ギャラリーにある利用申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、8月1日～15日に市民ギャラリー(イオン厚木店7階) ☎225局0771へ。抽選。

ニューブリテン市友好都市締結30周年記念・写真展

友好都市締結30周年を記念し、米国・ニューブリテン市の街並みや行事などの写真を展示します。《期間》8月1日～16日《場所》市役所本庁舎1階市民ホール。☎秘書課 ☎225局2050。

物忘れ予防・脳いきいき教室

9月5日～10月24日の木曜(全8回)、14時～16時。パートナーセンターほか。軽運動を取り入れた認知症予防。市内在住で65歳以上の方25人(要支援・介護認定の方を除く)。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月16日(必着)までに〒243-8511高齢福祉課 ☎225局2388・☎221局1640へ。抽選(初めての方を優先)。ウェブ申 ☎130225

からだいきいき運動教室

①Aコース=9月6日～11月22日の金曜(全12回)、13時～14時50分。

②Bコース=9月11日～11月27日の水曜(全12回)、10時～11時50分。南毛利スポーツセンター。③Cコース=9月4日～11月20日の水曜(全12回)、10時～11時50分。荻野運動公園。④Dコース=9月6日～11月22日の金曜(全12回)、15時～16時50分。ヤングコミュニティセンター。

いずれも市内在住で65歳以上の方(要支援・介護認定の方を除く)。各コース30人。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、8月15日(必着)までに〒243-8511高齢福祉課 ☎225局2388・☎221局1640へ。抽選(A～Cコースは初めての方を優先)。ウェブ申 ☎①130226②130227③130228④130229

森林セラピー基地案内人とのハイキングと温泉

8月14日、9時30分～15時30分(雨天中止)。東丹沢七沢観光案内所(七沢751-1)集合。七沢森林公園

街の話題

憩いの場としてたくさんの人に親んでもらいたい 斎場前の調整池でハスの花が見ごろ

下古沢の厚木市斎場前にある調整池で、ハスの花が見ごろを迎えています。ハスを植栽したのは、「あつぎ飯山あやめ会」(加川芳美会長)の皆さん。市の委託を受けて、池などを管理をしています。当初は、池の周囲にアヤメを植えていましたが、もっと多くの人に親んでもらいたいとハスを植栽しました。昨年の4月に10株のハスを植えると順調に池に広がり、今では数えきれないほどの花を咲かせるようになりました。「あつぎ飯山あやめ会」事務局の小島正賞さん(70・飯山)は「ハスは斎場に来る遺族には癒やしを、地域の方には憩いを与えてくれる」とほほ笑みます。皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

行き方：厚木バスセンター11番乗り場から「台ノ上・上古沢經由上分」行、「上分」下車徒歩1分。午前中が見ごろ。

ハスを眺める「あつぎ飯山あやめ会」の皆さん

熱・厚コンin本厚木 カップリング&グルメナイト

締め切り迫る!

昨年引き続き、好評のイベントを開催します。
《日時》9月22日 17時～21時
《会場》本厚木駅周辺
《対象》20歳以上で、2～3人の独身同性グループ 男女計1,000人
《会費》男性7,000円、女性4,000円
☎8月21日までに専用ホームページ (http://ameblo.jp/yeg-atsuatsu/) から申し込んでください。申し込み順。
詳細や最新情報は
☎厚木商工会議所 ☎221局2151

ジャズと食に酔いしれる大人の時間

ATSUGI あつぎジャズナイト

JAZZ NIGHT 2013

本格的なジャズを楽しんじゃおう♪



夏の恒例イベントをこどもも開催します。プロの演奏者をはじめ、企業や大学のバンドが出演し、軽快なジャズの音色を響かせます。地ビールやシロココロなど19店舗が軒を連ねるフードコートも充実。ぜひ会場へお越しください。 閩商業にぎわい課 ☎225局2840

日時 8月22日(木)・23日(金)
15時～21時

会場 厚木公園(はとぼっぽ公園)

内容 ジャズステージ、
フードコート、オリジナルグッズ販売



ステージスケジュール

22日(木)

- 東京農業大学、北里大学 / 15時～
- 永井泰子 / 16時20分～
- BIG18オーケストラ / 17時5分～
- レディ・キューブ / 18時20分～
- Nica & 本郷トリオ / 19時10分～
- 渡辺ファイアーSession / 20時～

23日(金)

- 神奈川工科大学、専修大学、東海大学 / 15時～
- ハマトラ・ジャズ倶楽部 / 16時35分～
- KANKAWAカルテット featuring: 類家心平 / 17時30分～
- ロコアロハ(タヒチアンフラ) / 18時25分～
- 日産B & Sジャズオーケストラ / 19時～
- 在日米陸軍軍楽隊 / 20時～



KANKAWA



永井泰子



渡辺ファイアー

あつぎ 元気Wave
CATV 8/1～放送



まちの安心安全 ニュース

快挙! 市立清水小学校が「交通安全こども自転車県大会」で優勝

7月6日に開催された「交通安全こども自転車神奈川県大会」で、市立清水小学校チームが優勝、緑ヶ丘小学校チームが準優勝に輝きました。

この大会は、児童に安全走行の知識と技能を身に付けてもらい、交通事故の防止につなげようと毎年開催。ことは県内から21チームが参加し、道路

標識などの理解度を問う学科テストと安全性や技能を評価する走行テストで順位を競いました。優勝した清水小は、8月の全国大会に出場します。

市内の小中学校では、このような取り組みを進めて子どもたちの安心安全への意識を高めています。

閩くらし交通安全課 ☎225局2760



見事優勝を果たした清水小チーム

準優勝の緑ヶ丘小チーム

広報あつぎでは、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045・450局1804へ。